



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

UAE: ドバイ・ワールド再構築への政府の介入発表への反応

(11月29日付「ガルフ・ニュース紙」)

29日付ガルフ・ニュース紙は、ドバイ・ワールド関連の政府発表を受けた市場の反応に関し、ドバイ側の立場を報じている。概要は以下の通りである。

1. 今回の世界市場の反応ぶりは、「ドバイ政府が（ドバイ・ワールドの）商業的な成功を確実にするために注視している」という今般の発表における大切なメッセージを軽視しているとともに、（その直前に発表された）アブダビ銀行団が50億ドル分のドバイ政府債を引き受けたという事実についても無視している。
2. 26日、アハマド財政支援政策最高委員会委員長（ドバイ民間航空庁長官）は、以下の内容の声明を発表した。
 - (1) 今回のドバイ政府によるドバイ・ワールド社再構築への介入は、同社の財政面での現状を踏まえ慎重に計画されたもので、市場がどう反応するかという点も盛り込んだものである。詳細は来週（29日に始まる週）初めに発表する予定である。
 - (2) 市場や投資者の心配は理解するが、債務問題に決定的な対策を取るためには、政府として同社に介入せざるを得なかった。どんな市場でも、経済危機から免れることはできないが、今回の決定も非常に微妙な経営判断の一つである。
3. 市場関係者の主なコメント
 - (1) この猶予期間は、ドバイ政府が他の政府系企業を支援する上でも、政府にとって有利な立場を提供することになる。
 - (2) ドバイはようやく問題のあることを認めた。これから回復基調に戻るまで苦しい時期を味わうことになるが、既に対策は取られ始めており、今後ともドバイの戦略的なハブ機能は継続するであろう。
 - (3) ドバイの問題はアブダビの信頼性にも影響を与える点に留意すべきである。ドバイの債務は、4,000～5,000億ドルあるアブダビのソブリン・ファンドの4分の1にも満たない。

◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799